

## 団長の独り

「夏の夜空へ」成功までの軌跡4

初日の朝、全員が元気に顔を揃え、健康状態も見る限りでは良好そうで、これまでなんとか幕を開ける事は出来る！

という中、場当たりは不安要素もなく一通り終わり、約1時間の休憩の後、「ゲネプロ」となる。

ゲネプロというのは、ドイツ語のゲネラル・プローベの事で、日本語に訳すと、「総合的な稽古」という意味らしく、

日本では、照明も音響もメイクも衣裳も本番と全く同じ状態で通す「最終通し稽古」の事を言う。つまりは、お客様がいないという意外は本番と同じなので、セリフをどちらうが、舞台転換が間に合わなかろうが、とにかく最後まで続けなきゃいけない。役者はこのゲネプロで自分の立ち位置や出ハケの最終確認をし、照明、音響、舞台転換等のスタッフさん達も最終確認を行うので、本番と同じような緊張感がある。

1ベル、アナウンス、2ベル、生演奏が始まる……全て本番通り。ピリッとした緊張感漂う幕開き。役者達は舞台袖等に待機。

私はと言えば、私演じる「木島」の出番が1幕の後半からなので、客席の一一番後ろの席に座って観客目線となり、じっくりと幕開きから観させてもらう。

幕開きのピアノ、ヴァイオリンに合わせ、「旅館・希望の星」にあたる照明の変化がめちゃめちゃきれい！オープニングが終わると、真っ暗闇の中にセミの鳴き声……外は真冬だけど、劇場は「夏」ってのをセミの声が教えてくれる。

やがて明かりが入り、芝居が始まる。出演者達は、「ゲネだから」って事で、力を抜くなんてことはせず、本番どおり！

パワフルに演じ、照明も音響も全てパワーフェクトだったのだが、相変わらず劇場内がやけに寒い。

これは劇場入りした時からそうなんだけど、どうやら麻布区民センターの空調の調子が、以前から相当悪いそうで、3月に修理業者が入ること……。

一番寒い1月、2月に対応出来ないとは！しかもよりによって、初日、中日、そして千秋楽の3日間は、今季最大の寒波が日本列島を覆う！そんな極寒の中、お越しいただいたお客様が、劇場内에서도寒い思いをされても、芝居にも集中しきれない可能性がある。

18時25分、舞台裏の廊下に全員集合して円陣を組み、大きく伸ばした右手を重ね合わせ、「いくぞ」「おく」と声を合わせ、各自が舞台袖にスタンバイ。18時30分、ついに「夏の夜空へ」麻布公演が始まった。

どの役者も落ち着いている。

うん！いいぞ、いいぞ！テンポもいいし、何より全員がノリノリなのがいい。

そのノリノリの中、1幕も後半に差し掛かるころ、私演じる「木島」が登場。

みんなの熱意に負けないように、無我夢中で演じて、楽屋に戻れば台本を開き、その都度次のセリフの確認をして、「落ち着いて」と自分に言い聞かせながら、

お客様の立場でつねに芝居を創ってきた我々としては、「寒い中」観劇されるお客様の気持ちを考えると、いたたまれなくなる。

しかし温かくならないのはしようがない。我々はお客様が寒さを忘れるほど熱意ある芝居をお届けするのみ！そんな事を思いながら、私は化粧前の己と向き合う。

（もっとも逃げる気はさらさらないが）

みなは楽屋や舞台面で、思い思いの時間を過ごし、17時45分、お客様がご入場の時間となると、待つてました！とばかりに続々とお客様が、ご入場される様子が楽屋にいても伝わって来る。緊張感が増す！もう逃げられない。

（もっとも逃げる気はさらさらないが）

18時25分、舞台裏の廊下に全員集合して円陣を組み、大きく伸ばした右手を重ね合わせ、「いくぞ」「おく」と声を合わせ、各自が舞台袖にスタンバイ。18時30分、ついに「夏の夜空へ」麻布公演が始まった。

どの役者も落ち着いている。

うん！いいぞ、いいぞ！テンポもいいし、何より全員がノリノリなのがいい。

そのノリノリの中、1幕も後半に差し掛かるころ、私演じる「木島」が登場。

みんなの熱意に負けないように、無我夢中で演じて、楽屋に戻れば台本を開き、その都度次のセリフの確認をして、「落

ち着いて」と自分に言い聞かせながら、頼もしい共演者達の芝居に感動しつつ、ひたすら「木島」になり、叫んで動く！動く！動く！

客席からは、笑い声等も起こり、お客様が楽しんで下さっているのが舞台上にいてもよく分かり、そのお客様に役者達もさらに乗せられて、ラストシーンの決シッ！と決め、感動的な拍手をちょうだいし、初日は無事終了した。

カーテンコールで、舞台上からお客様にご挨拶をする際、皆さんの服装に目をやると、ジャンバー、コート、マフラー姿ではなく、ちゃんと上着は脱がれてご観劇にならされているようだったのに、幸いにして、館内エアコンのご機嫌がまあまあ良かつたみたいだと、ホッとすると。

終演後、ロビーにて、お客様のお見送り。楽しんでいただけたかな？という感触。家に帰つてアンケートを拝見し、皆様が楽しんでくださったのが伝わり、まずは良かつたと胸をなでおろすが、明日は昼夜の2回公演、そしてさらに明後日の曜日まで公演は続く。

なか卯で、うどんと親子丢のセットを食べて、風呂に入つて爆睡するのでした。